

# 目黒の夕ヶノコノ竹がもたらすもの

平成30年4月24日～8月26日  
【開館時間】午前9時30分～午後5時  
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

## 関連イベント

講演会「江戸東京野菜

〜目黒の夕ヶノコ物語〜」

【講師】大竹道茂氏(江戸東京・伝統野菜研究会代表)

【開催日時】6月9日(土)午後1時30分～午後3時30分

※ 事前に申込が必要です。

体験学習会「竹のおもちやで遊ぼう」

【開催場所】目黒区古民家(碑文谷3丁目11-22)

【開催日時】5月19日(土)午前10時～午後3時

※ 参加自由

申込方法や内容等の詳細は

区報またはホームページをご覧ください。



東急東横線	東急バス
東京メトロ日比谷線	・ 渋71・恵32系統(駒沢通り)
・ 中目黒駅: 徒歩12分	正覚寺前: 徒歩10分
	・ 渋41・黒09系統(山手通り)
	目黒警察署前: 徒歩5分

〒153-0061 東京都目黒区中目黒三丁目6番10号  
TEL: 03-3715-3571 / FAX: 03-3715-1325

目黒区めぐろ歴史資料館  
MEGURO HISTORY MUSEUM

入館無料





# めぐろ歴史資料館は開館 10 周年の節目を迎えました!



住宅地のイメージがある目黒ですが、目黒式タケノコ栽培法の名稱がつくほどタケノコの産地として有名で、江戸時代は練馬のダイコン、江戸川のコマツナなどと並び称され、昭和の初め頃までタケノコ栽培が行われていました。

特別展では、目黒のタケノコ栽培法の特徴や歴史の変遷、タケノコを目黒の名物として定着させた<sup>たけのこおう やましかつたか</sup>筍翁山路勝孝の販売戦略などを紹介するとともに、竹が古来より日本人の生活に深く関わり、食用のほかにも建築材料から箸に至るまで広く利用されていたことを、竹の性質と合わせ実物資料などを通して紹介します。



筍翁山路勝孝の墓

## タケノコ栽培

<sup>もうそうたけのこ</sup>孟宗筍の栽培方法の代表的なものとして、<sup>ちゅうこう</sup>中耕式、<sup>きやうと</sup>京都式、<sup>めぐろ</sup>目黒式の3つの種類があります。竹の根は放っておくと地上に出てきてしまい、根が地上に出るとタケノコは出ません。この竹の根の処理の仕方によって、栽培法が異なっているのです。



## おもな展示内容

【タケノコ栽培法】  
タケノコ栽培法のいろいろ  
目黒式タケノコ栽培法  
筍翁山路勝孝

【竹と日本人】

歴史にあらわれた竹・タケノコ  
竹の生活道具・日用品  
竹と楽器  
竹と建物 他多数



タケミ (竹箕)



ロッカク (六角)



駕籠



タッペ



碑文谷影 (タケノコとスズメ)



ノミとヘラを使う様子 (昭和 61 年頃)

## 展示解説

担当学芸員による展示解説を開催します。

【開催日時】

4/28、5/12、5/26、6/23、7/7、  
7/21、8/11 (いずれも土曜)

午後 1 時 30 分 ~ 2 時

時間内に展示室にお越しください。

